



2022年度

ほけんだより 第11号

久宝まぶねこども園 992-2033

3月1日 発行

今年度も残すところあと1ヶ月となりました。
この時期は、子どもも大人も進級・進学準備などで何かと慌ただしく、体調に加え、環境の変化により心のバランスを崩しやすくなります。しっかり食事と睡眠をとって健康な体作りをすると共に、少し肩の力を抜いて、心の健康にも目を向けてみましょう。

その症状 水ぼうそうかも

- 37~38℃くらいの発熱
- 顔、体幹、頭部にも赤い発しんがある
- かゆみの強い水ぼうが次々にできる



発しんの出方には個人差があり、特にアトピー性皮膚炎があれば、ひどくなる場合もあります。発しんが見られたら、すぐ受診を。すべての水ぼうそうがかさぶた化したら、医師の診断を受け、許可を得てから登園してください。ウイルス性の病気ですが、重症の場合は内服薬もありますので、医師と相談しましょう。

水ぼうそうに注意!

八尾市では2月2日より、水ぼうそうの流行注意報が発令されています。

- ・かゆみのある小さな紅斑が出現して水疱を持つ(後にかさぶたとなる)
- ・発熱を伴うことがある
- ・頭皮内にも水疱ができることが特徴
- ・新しい紅斑がでなくなり、すべてがかさぶたになったら治癒と判定
- ・潜伏期間は10日~20日

登園届、意見証明書が必要です

家庭連絡

下痢をしている子が多く見られます
下痢は感染力が非常に強く、僅かなウイルスで感染します。園は集団生活の場ですので、下痢をしている場合は家庭保育をお願いします。

ホクナリンテープについて

咳がでていて、病院から処方されたホクナリンテープ(気管支拡張剤で、胸部や背部に貼るテープ)を貼る場合は、以下のことにご注意ください。

- ※園でお預かりして貼ることはできません。
- ※テープには、名前を記入してください。
- ※登園時に、テープを貼っている場所を保育者にお伝えください。
- ※テープは、はがれて床に落ちたとき、子どもが誤嚥・誤飲する危険がありますので、なるべくはがれないように周囲をテープで固定するなどのご協力をよろしくお願いします。

先日、幼児部を対象に、聴力と視力の検査を行いました。園での検査は「確定診断」を行うのではなく、「受診の必要があるかどうかを確かめること」を目的としています。
年齢的に、正確に検査をすることが難しい場合もあります。気になることがあったお子様については、担任よりお声をかけさせていただいておりますので、専門家である医療機関を受診してください。



ちゃんと聞こえているかな?

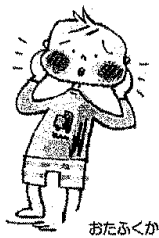
【難聴の原因になる感染症など】
中耳炎 おたふくかせ 先天性風しん症候群など

聞こえにくい原因

聞く力は、言葉やコミュニケーション力を育むために欠かせないもの。難聴がある場合は、一日も早く専門的な治療や指導を受ける必要があります。難聴には先天性と後天性がありますが、2~6歳の難聴の原因の大部分を占めるのが滲出性中耳炎です。程度は軽くて数年にわたって続くと、言葉の習得に影響が出ることもあります。聞き返しが多くなったり、テレビに近づいて聞く様子などが見られたりしたら、早めに耳鼻科を受診しましょう。



妊娠中の風しん感染で、胎児が難聴になることも



おたふくかせの後遺症で難聴になることもあるよ

耳そうじ、どうしていますか?

耳の奥に綿棒を入れないこと!!

耳あかは、耳垢腺、皮脂腺などからの分泌物や、古くなってはがれた皮膚、ほこりなどが混ざってできたもの。しかし単なる老廃物ではなく、耳の中のデリケートな皮膚を保護したり、異物の侵入や雑菌の繁殖を防ぐ働きもしています。人間には、物をかんだり、あくびをしたりすることで耳あかを自然に排せつする機能が備わっているため、家庭で無理に取る必要はありません。
耳あかが気になったら、耳鼻科で取ってもらうのがお勧めです(保険適用)。



耳の衛生のポイント(新常識!)

- ・耳あかが気になるときは、専門家に任せる。
- ・耳の奥に綿棒を入れないこと(耳あかが奥へ押し込まれ、耳の中をふさいでしまう可能性も!)
- ・耳を清潔に保つには、お風呂上りに耳の外側の水分を拭き取るだけに!

※目のことについて、詳しくはほけんだより第6号に記載しています。